

### ●公民館活動も大盛況

急激な社会の変化にともない、社会教育のはたす役割は最近、ますます重要性を増してきています。

そこで、市は子どもからお年寄りまで一貫した生涯教育の立場から、社会教育と取り組み、バラエティに富んだ公民館活動を展開しています。そのため、市民によるコミュニティづくりの推進拠点として公民館本館を建設するとともに、分館（2か所）を設け、各種学級・講座を開設しています。

### 鑑賞も参加の一形態

恒例の市民文化祭がやってくると、人びとの胸は高鳴ります。その日は、日ごろ磨いた腕によりをかけて作りあげた“市民芸術作品”が展示され、一日芸術家、一日批評家で会場は賑わいます。

市民の自主的な文化サークル活動は年々活況を呈していますが、その1年の集大成が市民文化祭といっても過言ではないでしょう。

市民文化祭



成人式





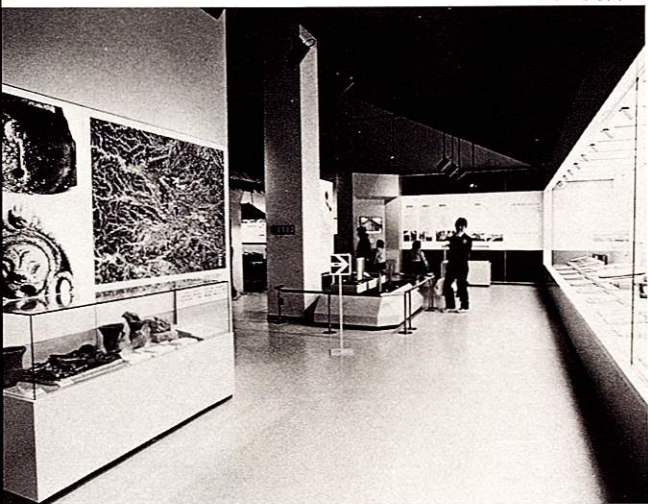
## ● 中央図書館も建設

市民待望の中央図書館が、55年4月にオープンしました。鉄筋2階建て、延床面積3,125㎡で、うち458㎡が郷土資料室になっています。

特色は、1階にすべての機能を集中し、本の貸し出し、閲覧、相談、調査、児童サービスから、郷土資料室の利用までできます。最大収容冊数は15万冊です。郷土資料室は、ふるさとの成り立ちと人びとの歩みを紹介する考古資料、古文書、民俗資料、多摩川の自然や生態を再現するジオラマなどが展示されています。

中央図書館は文字通り、福生市民の文化の中心となったのです。

郷土資料室



公民館絵画教室



中央図書館

